



1. 1階カフェ
2. 2階展示室
3. 南側庭から見る



3



日建連表彰2021



第62回BCS賞

福田美術館

選定理由

【選考委員】
竹内 徹・堀部安嗣・大西正修

日本屈指の伝統的景観地区、京都嵯峨嵐山の渡月橋を望む敷地に建つ。訪れると周辺の環境や景観に対してまったく違和感のない雰囲気、建物と静かに佇んでいられる。しかしこの建築が単なる伝統や慣習に従っただけの安易なものではなく、様々な難題を克服して現代的な視点や技術によって歴史や景観を継承していることを知ると、その佇まいの聡明さに驚く。表現された静けさは、これみよがしなものではなく、単なる単純化とも違う。修練と研鑽の末にようやく辿り着いたものだけが放つ貫緑の風情がある。

特別修景地区に指定されている場所であるため建物の外観の形状、色彩、外構計画の厳しい法規制がかかることや、河川の氾濫に備えて美術品や人を守ること、更には地下水

解決も見事である。閉じたスペースは壁量の多い鉄筋コンクリートの壁構造、反対に近景、中景、遠景を望む開放的なスペースや屋根は仕上げ支持材を兼ねたステンレス削り出しフラットバーで軽快に構成し、更に視界から継ぎ手を感じさせないディテールや配慮が徹底的になされている。またマリオンを兼ねた鉄骨柱の収まりやメインの大理石の階段、外壁の本実型枠は失敗が許されない精度の高い施工技術が要求されるが、モックアップの作成や設計施工の意思疎通を重ねること

ヒートポンプ利用などを考慮した上で導き出された断面構成が実在の確である。床レベルの設定に無理はなく、物理的にも心理的にも疑問を感じさせない自然で確かなものになっていることが印象的である。加えて平面構成のシンプルさと美しさが際立っており、動線のわかりやすさも相まって建築に大切な安心感や人々に与えていることも見逃せない。デリケートな環境を必要とする展示室は蔵のような閉じた場所と考えられる最高の機械設備環境が与えられ、反対に人がくつろいだり観賞後の余韻に浸るスペースには縁側のような開放的な場所が与えられ、その開放と閉鎖のリズムを楽しみながら、わかりやすく美術館を楽しめるようになっており、複雑で手数の多い建物が陳腐に感じられてしまうほどのシンプルな完成度を感じることが出来る。また閉じるスペースと開くスペースの構造的

によって、何事もなかったかのような静けさを獲得している点も特筆に値する。全体を通して目が行き届いていないところは皆無で、すべての場所が等価に考え尽くされ、施工され、気高い精神で統一されている。それがこの建築の信頼感に繋がっていることを伝えたい。記憶が蓄積・熟成された場所に建つ成熟した技術と情感が織りなす結晶体のような質の高い建築。次世代に何より必要なのは、この建築的価値に高い評価を与えたい。

全体を通して目が行き届いていないところは皆無で、すべての場所が等価に考え尽くされ、施工され、気高い精神で統一されている。それがこの建築の信頼感に繋がっていることを伝えたい。記憶が蓄積・熟成された場所に建つ成熟した技術と情感が織りなす結晶体のような質の高い建築。次世代に何より必要なのは、この建築的価値に高い評価を与えたい。

福田美術館 概要

- 所在地 京都府京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町3-16
- 建築主 (株)AYG
- 設計者 (有)安田アトリエ
- 施工者 戸田建設(株)
- 竣工日 2019年2月28日

- 敷地面積 1,986㎡
- 建築面積 693㎡
- 延床面積 1,194㎡

- 階数 地上2階、地下2階
- 構造 鉄筋コンクリート造、鉄骨造



詳細や他の写真などは左記のQRコードからWebページにアクセスしてご覧ください。

《日建連表彰2021 第62回BCS賞受賞作品》 有明体操競技場／大宮区役所・大宮図書館／軽井沢風越学園／The Okura Tokyo／大倉集古館／渋谷ストリーム／昭和電工(大分県立)武道スポーツセンター／大丸心斎橋店本館／高崎芸術劇場／知立の寺子屋／日本橋区三井タワー／日本橋スマートエネルギープロジェクト／東大阪市文化創造館／福田美術館／松原市民松原図書館 「読書の森」／ミュージアムタワー京橋／ミライオン(長崎県立長崎図書館、大村市立図書館、大村市歴史資料館)

BCS賞

BCS賞は、建築の事業企画・計画・設計、施工、環境とともに、供用開始後1年以上にわたる建築物の運用・維持管理等を含めた総合評価に基づいて選考し、建築主・設計者・施工者の三者を表彰する建築賞です。この賞は、1960年にはじまり2021年で62回を数えました。